

次期「彦根市子ども・若者プラン」策定に係るニーズ調査 (小学生児童用)

調査ご協力のお願い

みなさまには、日頃より市政各般にご理解とご協力をたまり、誠にありがとうございます。

さて、本市では、次の時代を担う子ども・若者の健やかな成長と自立を応援するため、乳幼児期からの保育・教育、地域の子どもの子育て支援を総合的に推進するとともに、青少年の健全育成を図るなど、子ども・若者の支援を一体的に支援するため、「子ども・子育て関連 3 法」「子ども・若者育成支援推進法」などの趣旨を踏まえ『彦根市子ども・若者プラン』を平成 27 年 3 月に策定し、「子ども・若者の元気を応援するまちひこね」を基本理念に掲げて、子育て支援、子ども・若者支援に係る各施策・取組を進めているところです。

この『彦根市子ども・若者プラン』が平成 31 年度で計画期間が終了となりますことから、次期計画を本市の現状や子育て世帯の実態、ニーズなどを踏まえた上で策定するべく作業を進めております。

つきましては、市民のみなさまの子育てに関する実態や子どもたちの生活実態、ご意見などを把握するために、『次期「彦根市子ども・若者プラン」策定に係るニーズ調査』を行いたく存じます。

この調査は、これからの子どもや子育てに関する事業を、本市において行っていくうえでの基礎資料となる大変重要なものですので、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

彦根市長 大久保 貴

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**のことについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24 時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印に従って**ご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒に入れて ●月●日(●)まで**にご投函ください。
- この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを無作為に 2,000 人抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、本市の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることはございません。
- ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 彦根市子ども未来部 子ども・若者課

TEL : 0749-49-2251 FAX : 0749-26-1768

■回答するに当たってお読みください

本市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく「子ども・子育て支援新制度」の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「彦根市子ども・若者プラン」を作成し、計画的に給付・事業を実施しているところです。平成31年度は「彦根市子ども・若者プラン」の最終年度となり、次年度からの次期計画を策定する予定であります。

本調査は、次期計画期間において確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を、本市が算出するために、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

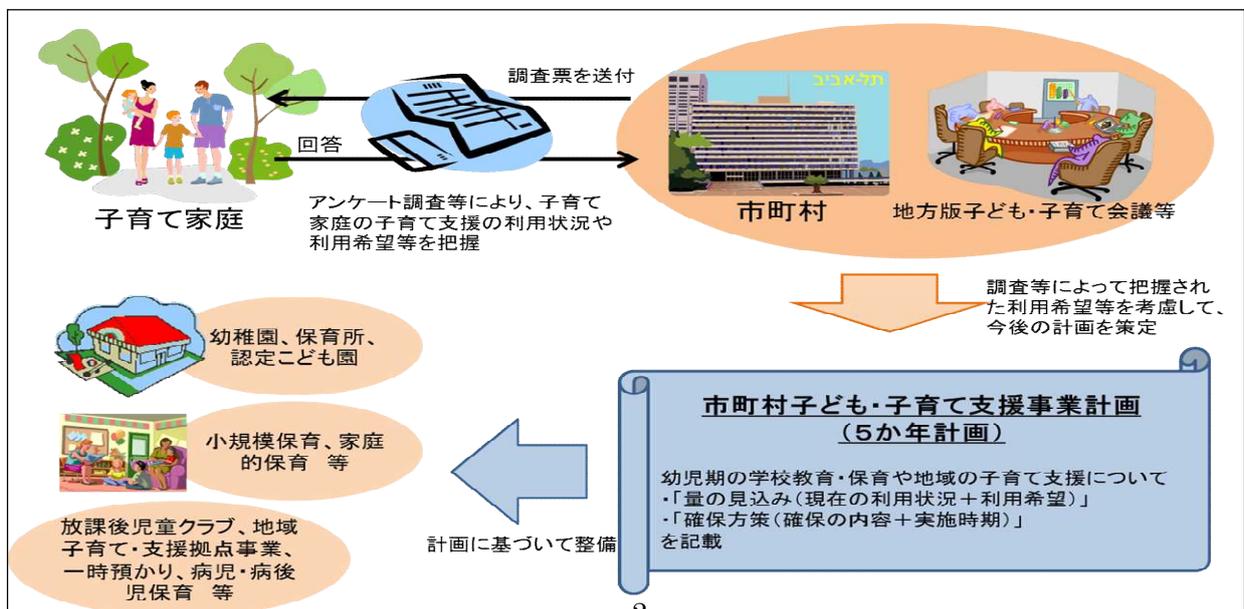
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

■いただいた回答は地域の子育て支援に活かします！



放課後や普段の過ごし方についてうかがいます。

★★問7 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

「ファミリー・サポート・センター」…子育てなどの援助をしてほしい人（依頼会員）と援助できる人（提供会員）が会員登録をして、援助を行う事業。これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館・子どもセンター	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

★★問8 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館・子どもセンター	週（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

★問9 問7または問8で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日 ※現在彦根市では実施していません。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

★問10 **すべての方にうかがいます。** 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 ()時から()時まで
------------------------------------------------------------------	---	--------------------------

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

★問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 父親	3. 母親	4. 祖父母	5. 小学校
6. 放課後児童クラブ				
7. その他()				

★問12 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○を付けてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 小学校	4. 放課後児童クラブ
5. その他()			

★問13 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる 5. いずれもない ⇒ 問14へ	}	⇒ 問13-1へ ⇒ 問13-2へ
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--------------------------

★問13-1 **問13で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。** 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある 6. その他()	⇒ 問14へ
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------

★問13-2 問13で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------------------|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

★問14 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問14-1へ | 2. ない ⇒ 問15へ |
|-------------------|--------------|

★問14-1 問14で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母（子どもの祖父母） |
| 3. 親戚 | 4. 友人・知人 |
| 5. 近所の人 | 6. 子育て中の仲間 |
| 7. 小学校 | 8. 保育所、幼稚園、認定こども園 |
| 9. 地域子育て支援センター
(子どもセンター・ビバシティ彦根・東山児童館) | 10. 福祉センター（家庭児童相談室・子育て支援課） |
| 11. 福祉センター（子ども・若者課） | 12. 福祉センター（幼児課） |
| 13. 子ども・若者総合相談センター | 14. 発達支援センター |
| 15. くすのきセンター（健康推進課） | 16. ファミリー・サポート・センター |
| 17. 子ども家庭相談センター（児童相談所） | 18. 子育てホットライン |
| 19. 民生委員・児童委員 | 20. 教育相談 |
| 21. 医師 | 21. 教育委員会 |
| 22. その他 () | |

問15 宛名のおさんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはない |
|--------------|--------------|

問15-1 問15で「1. 参加したことがある」に○をつけた方にうかがいます。参加したことがある活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------------------|
| 1. スポーツ活動 | 2. 文化・音楽活動 |
| 3. キャンプ等の野外活動 | 4. 高齢者訪問等の社会福祉活動 |
| 5. 国際交流活動 | 6. 子ども会など青少年団体活動
(ボーイスカウト・ガールスカウト等) |
| 7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動 | 8. 農業や商工業などの体験活動 |
| 9. 地元自治会での活動 | 10. その他 () |

問16 今後、参加させたいと思われる活動はありますか。また、それは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動	2. 文化・音楽活動
3. キャンプ等の野外活動	4. 高齢者訪問等の社会福祉活動
5. 国際交流活動	6. 子ども会など青少年団体活動 (ボーイスカウト・ガールスカウト等)
7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	8. 農業や商工業などの体験活動
9. 地元自治会での活動	10. その他 ()
11. 今後参加させたい活動は、特になし	

★問17 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

★★(1) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1)-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問20へ
6. これまで就労したことがない	

★(1)-1 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

★(1)-2 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時間 () 時	帰宅時間 () 時
--------------	------------

★★(2) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問20へ
6. これまで就労したことがない	

★(2)-1 (2)で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
-----------	------------

★(2)-2 (2)で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

家を出る時間（ ）時	帰宅時間（ ）時
------------	----------

★★問19 問18の(1)または(2)で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

★★問20 問18の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	(<table border="0"> <tr> <td>ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</td> </tr> <tr> <td>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)</td> </tr> <tr> <td>→1週当たり()日 1日当たり()時間</td> </tr> </table>)	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	→1週当たり()日 1日当たり()時間
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)				
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)				
→1週当たり()日 1日当たり()時間				

(2) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	(<table border="0"> <tr> <td>ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</td> </tr> <tr> <td>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)</td> </tr> <tr> <td>→1週当たり()日 1日当たり()時間</td> </tr> </table>)	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	→1週当たり()日 1日当たり()時間
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)				
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)				
→1週当たり()日 1日当たり()時間				

問21 彦根市にはひとり親家庭のために次のような制度やサービスがあります。あなたはこれを知っていますか。それぞれ、「知っている」「知らない」のいずれかに○をつけてください。

事業名及び事業内容	認知度
1. 児童扶養手当 父母の離婚等によりひとり親となった家庭の親等に対して支給される手当	知っている ・ 知らない
2. 日常生活支援事業 一時的に生活援助や保育サービスが必要な場合、生活支援員を派遣し、家事や児童のお世話をします	知っている ・ 知らない
3. 家庭支援事業利用助成 保護者が疾病、仕事等の理由によって、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に利用する子育て支援事業の経費に対し援助を行います	知っている ・ 知らない
4. 自立支援教育訓練給付金事業 働いた経験がない方等を対象に、県・市があらかじめ指定した職業能力開発講座を受講し、修了された場合、受講料の一部を支給します	知っている ・ 知らない
5. 高等技能訓練促進費事業 看護師などの資格取得を目的とし、養成機関で2年以上のカリキュラムを受講する場合に、受講期間の生活費を支給します	知っている ・ 知らない
6. 母子自立支援プログラム策定事業 就業を希望されている方、自分に向いている仕事が見つからず悩んでいる方の相談に応じ、就労による自立を支援します	知っている ・ 知らない

★問22-5 問22-4で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

★★問23 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む） | ⇒ 問23-1 へ |
| 2. なかった | ⇒ 問24 へ |

★★問23-1 問23で「1」を選ばれた方にうかがいます。この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も () 内に数字でご記入ください。

- | | | |
|-----------------------------|-------|-------------|
| 1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた | () 泊 | } ⇒ 問23-2 へ |
| 2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した | () 泊 | |
| 3. 仕方なく子どもも同行させた | () 泊 | |
| 4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 泊 | |
| 5. その他 () | () 泊 | |

★★問23-2 問25-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

彦根市の子育て支援サービスについてうかがいます。

★問24 彦根市には次のような学習支援・子育て支援サービスがありますが、知っていたり、利用したことはありますか。また、今利用したいと思いませんか。サービスごとにA、B、Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

		A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
学習支援など	①少年少女発明クラブ(学校教育課) 小学生を対象に科学的な興味・関心を追及する場を提供しています	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	②適応指導教室「オアシス」(教育研究所) 学校に行きたくても行けない小・中学生のために、指導員が子どもと一緒に活動しながら、心の安定や生活への適応力向上を援助し、学校復帰を目指します	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	③サイエンスプロジェクト(生涯学習課) 子ども向けロボット研究室などを開催し、教育用ロボットのプログラミングなどを通じて、子ども達に科学に対する好奇心や探究心を引き出します	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	④地域子ども教室(生涯学習課) 地域の公民館、学校等を活用して、地域の大人を指導員として配置し、放課後や週末のスポーツや文化活動などの体験活動や地域住民との交流活動をしています	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑤青少年立ち直り支援センター「あすくる彦根」(少年センター) 青春のまただ中であって“道に迷いかけた”“自分を見失いかけた”“自分の居場所が見つけられない”そんな自分から立ち直ろうと頑張っている青少年少女たちを支援しています	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑥夏休み子ども狂言教室(彦根城博物館)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	⑦地域子ども文庫・地域親子文庫(市立図書館)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

<子どもの健康など>

- 16. 病気や発育について
- 17. 知能や言語の発達について
- 18. 障害について
- 19. 食事や栄養について

<子どもの教育・友達つきあい>

- 20. 友達つきあい（いじめなどを含む）について
- 21. 学力や進学・受験について
- 22. 不登校などについて

<経済面・安全面>

- 23. 生活費について
- 24. 就労について
- 25. 犯罪や事件などの被害にあわないか心配なこと

<その他>

- 26. その他（)
- 27. 悩みや心配ごとは特にない

問27 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 急な残業が入ってしまう
- 2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒を見る人がいない
- 3. 家族の理解が得られない
- 4. 職場の理解が得られない
- 5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
- 6. 子どもの面倒をみってくれる放課後児童クラブなどが見つからない
- 7. 子どもと接する時間が少ない
- 8. その他（)

問28 一般的には、母親が子育てに関わることが多い中で、お父さんは、子育てに積極的に参加されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 積極的に参加している
- 2. できるだけ参加している
- 3. あまり参加していない
- 4. 全く参加していない
- 5. 母子家庭である
- 6. その他（)

問29 問28で「1～3」に回答された方にうかがいます。お父さんは、どのような子育てに参加されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 子どもと遊ぶ
- 2. 子どものしつけ
- 3. 病気のと看、病院等につれていく
- 4. 放課後児童クラブの送迎
- 5. 子どもの食事の調理や世話
- 6. 子どもの入浴や着替え
- 7. 子どもの教育（学習）など
- 8. その他（)

問30 子どもと過ごす時間はどのくらいありますか。1日当たりの「子どもと過ごす時間」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（平日・休日の該当する曜日すべてに○をしてください。また、時間は（ ）内に数字でご記入ください。）

父親	平日（仕事のある日）	月・火・水・木・金・土・日	（ ）	時間
	休日（仕事の無い日）	月・火・水・木・金・土・日	（ ）	時間
母親	平日（仕事のある日）	月・火・水・木・金・土・日	（ ）	時間
	休日（仕事の無い日）	月・火・水・木・金・土・日	（ ）	時間

問31 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 父母（子どもの祖母）
3. 親戚	4. 友人、知人
5. 近所の人	6. 子育て中の仲間
7. 小学校・保育所・幼稚園・認定こども園	8. 地域子育て支援センター (子どもセンター・ビバシティ彦根・東山児童館)
9. 福祉センター（子育て支援課・家庭児童相談室）	10. 福祉センター（子ども・若者課）
11. 福祉センター（幼児課）	12. 発達支援センター
13. くすのきセンター（健康推進課）	14. 教育委員会
15. 子育て雑誌、育児書	16. テレビ、ラジオ、新聞
17. コミュニティ誌	18. インターネット
19. 市の広報やパンフレット・ガイドブック	20. その他（ ）
21. 情報の入手先がない（わからない）	

問32 彦根市の子育て環境についてどう思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近所に子どもと同世代の遊び仲間がいる	2. 自然環境にめぐまれている
3. 風紀がよい	4. 子育てに関する情報が豊富である
5. 子ども会などの地域活動が盛んである	6. 子どもの施設の整備状況がよい
7. 学校などの教育施設の整備状況がよい	8. 文化施設の整備状況がよい
9. 医療機関・施設の整備状況がよい	10. 遊び場が整っている
11. 交通の便がよい	12. 公共施設や道路が子育てに配慮されている
13. 子連れで利用しやすい店舗が多い	14. 母親が子育てしながら働ける職場が多い
15. 特に何も思わない	16. その他（ ）

★問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ←	1	2	3	4	5	→ 満足度が高い
----------	---	---	---	---	---	----------

問34 彦根市のこれからの子育て支援施策について、どのようなことを期待しますか。1～35までのうち、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<教育・保育>

1. 一時保育など、多様な保育サービスの充実
2. 保育所や幼稚園、認定こども園での教育・保育内容の充実
3. 保育所・幼稚園・認定こども園の施設の充実
4. 個性を尊重したゆとりある教育の推進
5. 他人や自分を大切にし、人とのかかわりを学ぶ教育の推進
6. 学力の向上のための教育内容の充実
7. 教育施設の充実
8. 障害児の教育・保育の充実

<健康・発達支援>

9. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの充実
10. 医療機関・施設の充実
11. 発達に関する支援・相談の充実

<相談・情報提供>

12. 気軽に相談できる窓口の充実
13. 子育てに関する情報提供の充実
14. 子育てについての教室や講座の充実
15. 虐待防止のための相談窓口の充実
16. いじめに関する相談窓口の充実
17. 不登校に関する相談窓口の充実

<地域・企業ぐるみの子育て支援>

18. 女性も男性も家事、育児に参画するという考え方の普及
19. 子育てしやすい労働条件の整備（在宅勤務、勤務時間の短縮）等ワークライフバランスの実現
20. 親同士の交流の場や仲間づくりの機会の充実
21. 子育てサークルやNPO団体の育成支援
22. 子育てを助け合うコミュニティづくり
23. 子ども会など地域の健全育成活動の充実
24. 若者の居場所づくり

<安全・経済支援>

25. 交通安全・防犯教育の充実
26. 地域のパトロールや見守り活動などの充実
27. 保育所や幼稚園、認定こども園の費用負担の軽減
28. 児童手当などの経済的な支援
29. 出産費用や乳幼児医療費用負担の軽減
30. 不妊症治療費の費用負担の軽減
31. 不育症治療費の費用負担の軽減
32. 就労への支援
33. 安定した雇用への支援

<その他>

34. その他（）
35. 特にない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

★問 35 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

父親 (いずれかに○)	母親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した	2. 取得した
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ()

★問 35-1 子どもが原則1歳 (保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等 (法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

⇒ 問35-2へ

問35で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問36へ

★問35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 育児休業中に離職した | ⇒ 問36へ |

(2) 母親

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 育児休業中に離職した | ⇒ 問36へ |

問35-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

→ ★問35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

→ ★問35-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

(2) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

→ ★問35-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 父親

() 歳 () ヶ月

(2) 母親

() 歳 () ヶ月

問35-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

★問35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

(2) 母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

★問35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 父親

- | | |
|-------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） | |
| 2. 利用した | 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問35-8へ |

(2) 母親

- | | |
|-------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） | |
| 2. 利用した | 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問35-8へ |

問35-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

★問35-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 父親

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他 () |

(2) 母親

- | |
|-----------------------------------------------|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他（ ） |

問36 総合的にみて、彦根市は子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------------------------------------|
| 1. 子育てしやすい | 2. やや子育てしやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. やや子育てしにくい |
| 5. 子育てしにくい | 6. その他（ ） |

問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。